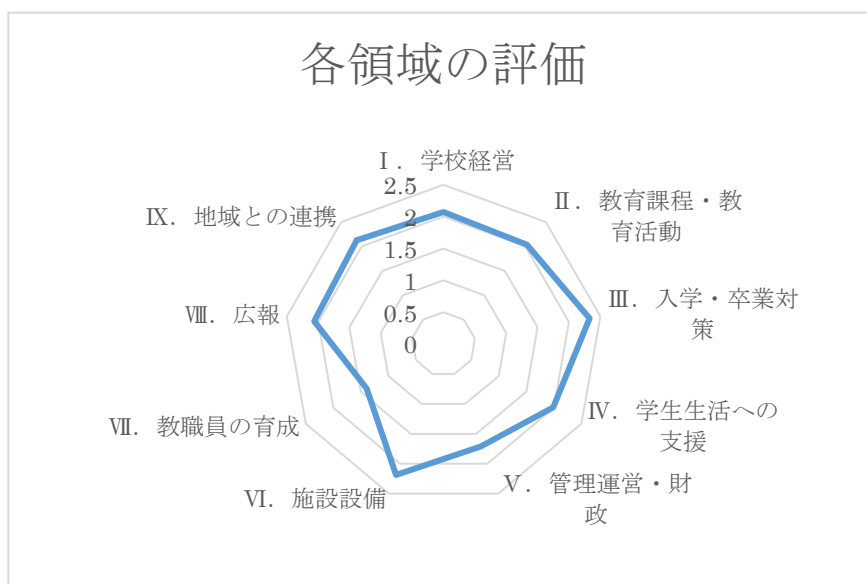


平成 29 年度 学校運営評価

新潟看護医療専門学校は、教育の質の向上を図り、学校の設置目的を達成するために、教育活動全般について自己評価を行い、改善を行うための学校運営評価を行っています。

学校運営評価は、9 領域 46 項目からなり、「3 よい」「2 普通」「1 不十分」の 3 段階評価を行っています。

領域	主な内容	項目数
I. 学校経営	学校の組織運営、組織目標について	6
II. 教育課程・教育活動	教育目標、教育内容、授業や実習について、評価について、学生による授業評価の活用等	15
III. 入学・卒業対策	入学希望者への対応、国家試験対策、卒業生への支援	4
IV. 学生生活への支援	就職や進学への支援、経済的支援、健康管理	5
V. 管理運営・財政	個人情報管理、災害への備え等	3
VI. 施設設備	学校の建物、設備、バリアフリーへの配慮	3
VII. 教職員の育成	研修の実施、学会派遣、教員相互の授業参観等	6
VIII. 広報	広報	2
IX. 地域との連携	地域との連携	2



平成 29 年度の学校運営評価において、最も評価が高い項目は「III. 入学・卒業対策」であった。評価が高い理由として、個々の特性を把握し入学後にスムーズな学びへと繋げることができる、入学前課題の導入が挙げられる。また、3 年間に渡って個別面談を密におこない、学生との信頼関係を確立させることで、在学中の細かな気持ちの変化を汲み取り、学生が目指す未来へのサポートを長年に渡り行えていることが高い評価となっていると推察する。一方、評価が低い項目は「VII. 教職員の育成」、「V. 管理運営・財政」であった。教職員の育成については、教職員の学びの意欲が高く、経験年数に応じた研修の取組みがなされ、個々の専門性を生かした研究調査活動を行えている。しかし、実際に授業及び研究に密接に結び付けられる方法について、組織的に体系化しきれてはならず、これが改善できれば高い評価が得られるのではないかと考える。また、管理運営・財政においては、非常時における危機管理マニュアルの作成等準備を進めているが、災害時に必要とされる簡易トイレをはじめとした、備品類の準備不足が低評価の要因になったと思われるため、各種マニュアル、備品類整備を進めていく。今回の評価結果を踏まえ、今後も医療人を育成する教育機関として、教職員が共通の認識を持って学校の強みと弱みを知り、常に勤しむことで、より良い学校運営に取り組めるよう邁進していく。